

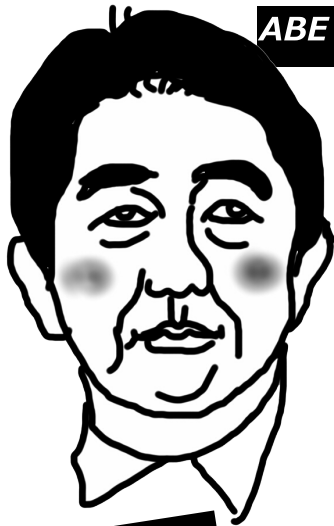
「日米同盟が大事」

「日本に民主主義は存在するのか」

ABE

VS

ONAGA



無法 さわまる安倍政権

県民の8割が「反対」

安倍政権は、沖縄県名護市辺野古の豊かな海を埋め立て、巨大な米軍の新基地を造ろうとしています。

沖縄県民は昨年、名護市長選、県知事選、衆院選挙の全てで、「新基地建設反対」の意思を示しました。当選した翁長知事は10月13日、新基地建設のために前仲井眞知事が民意に反して行った辺野古の海の埋め立て承認を取り消しました。翁長知事の決定を県民の8割が支持しています。

県民の抗議を暴力で排除

ところが安倍政権は、本来は国民の権利を守るための行政不服審査法を悪用し、埋め立て承認取り消しを執行停止させ、国が翁長知事に代わって埋め立て承認を執行するための裁判を起こしました。

辺野古では今、基地建設作業に非暴力で抗議する県民を、全国から派遣された大量の機動隊員が暴力的に排除し、けが人も生まれています。

まさに、かつて沖縄を全面占領した米軍が、「銃剣とブルドーザー」で県民の土地を強奪し、基地を拡張したやり方と同じです。

国「自治体は基地にものを言うな！」

政府は裁判で、「米軍基地建設など国防について知事に判断する権限はない」「基地を建設しなければ、アメリカの我が国に対する信頼は失墜する」と述べています。米軍の爆音、墜落、レイプ、犯罪によって戦後70年間苦しめられ続けてきた沖縄県民に、「日米同盟が一番大事」「基地について文句を言うな」と言い放っているのです。

日本の民主主義が問われている

アメリカのためなら、民主主義も地方自治も無視して基地建設をゴリ押しする——こんな植民地のような政治を許すわけにはいきません。

翁長知事は裁判で、「日本には本当に地方自治や民主主義が存在するのでしょうか。国民の皆様すべてに問いかけたいと思います」と訴えています。全国で沖縄県民と連帯し、「民主主義と平和破壊する基地建設やめよ」の声をあげましょう。

沖縄・米軍新基地の ゴリ押しをやめて!

日本平和委員会

2015年12月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277